


# 焼却炉ゼロに向けて

～千葉市、上勝町からの考察～

DEレポート No. 24

2023年12月

作成者:K.S

 脱炭素経営ドットコム

By DENKOSHA

「DEレポート」とは、環境やSDGsに係る社会問題を取り上げ、原因・背景から解決に向けた施策事例や将来の展望までを調査しコンパクトにまとめた報告書です。脱炭素経営ドットコムを運営する株式会社電巧社では、全従業員が本レポートの作成に取り組んでいます。

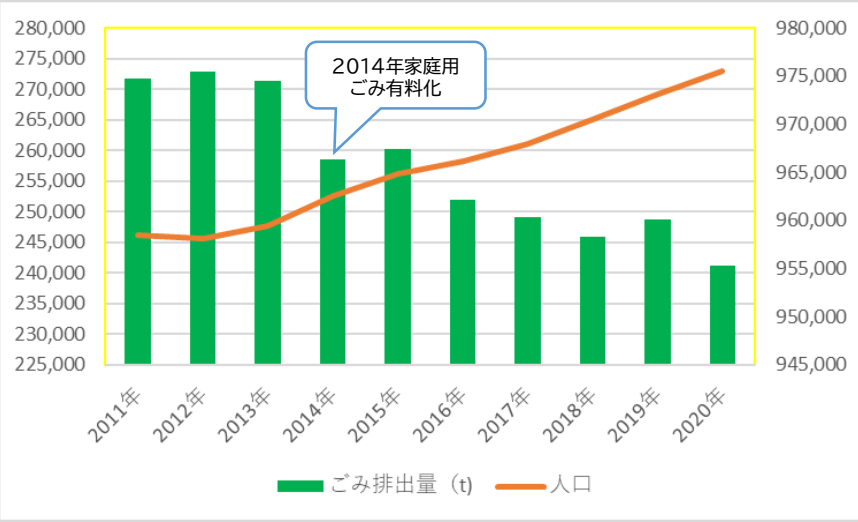


# ごみを出さない為の進むべき道

## ■ 千葉市にみるごみ処理への取り組み

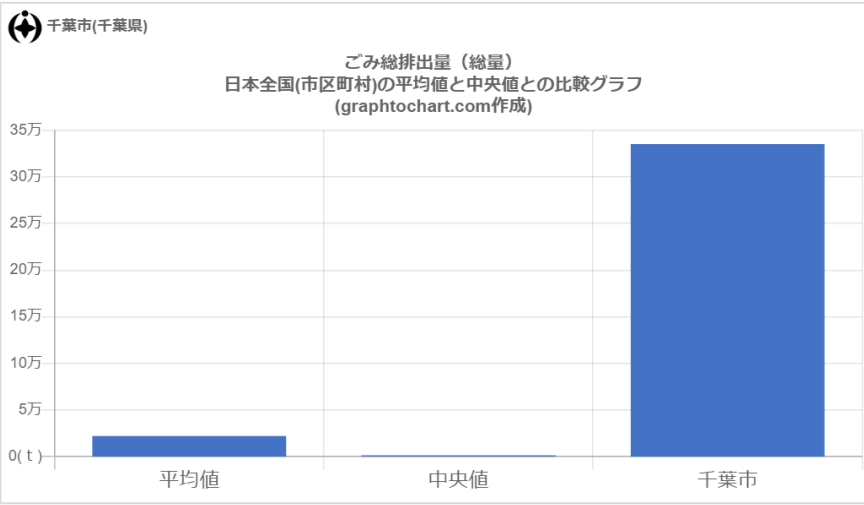
- 千葉市人口増加に伴い、可燃ごみ処理量が増加した
- 市の呼びかけで削減を促してはいるが、現状の対策では不十分だと感じている
- 現在の焼却炉に依存した処分方法では限界があるので、リサイクルや生ごみのコンポストへのシフトをベースとした、リペアやリユースが必要

## ■ 千葉市のごみ総排出量と人口推移



出典:千葉市HPより引用作者作成

## ■ ごみ総排出量にみる千葉市と日本全国の平均値比較



出典:千葉市

世界的にも注目される徳島県上勝町のごみ分別方法とは？

## ■ 徳島県上勝町にみるごみゼロに向けての取り組み

- 13品目45分別でリサイクル率80%を達成している
- ごみ収集車がなく、自らゴミステーションへ持ち込む
- リサイクル品はくるくるショップへ持ち込み、住民が自由に持ち帰り出来る
- 生ごみは回収せず、コンポストの導入を図る
- 1975年以降、20年以上ごみの野焼きが行われていたが、上記の取り組みにより現在野焼きは行われていない

## ■ 自然発生的に野焼きが始まっていた



出展：徳島県上勝町HP

## ■ 上勝町のゴミ取り組みの変遷

年度	実施内容	ごみ処理
H5	全戸を対象にゴミの排出量調査を実施	野焼き
H6	上勝町リサイクルタウン計画を策定	
H7	家庭用生ゴミ処理機購入補助開始(自己負担1万円)	
H9	容器リサイクル対象品の分別収集スタート 2月:ガラス(無色・茶色・その他)、アルミ缶、スチール缶、飲料用紙パック 12月:段ボール、紙類	
H10	小型焼却炉2基設置	22分別開始
H13	1月:小型焼却炉閉鎖、35分別開始	35分別開始
H14	7月:プラスチック製容器包装類の分別開始 それに伴いこれまでの「プラスチックボトル類」とプラスチック類を統合し、34分別に。	34分別開始
H15	9月:ごみゼロ(ゼロ・ウェイスト)宣言を議会全会一致で可決	
H17	NPO法人ゼロ・ウェイストアカデミー発足	

出典：徳島県上勝町HP

**焼却炉ゼロに向けたごみ分別は実現可能**



- 自治体による温室効果ガス排出ゼロを掲げ、焼却炉ゼロに向けた取り組みを宣言する
- 千葉県と上勝町の規模感の違いはあるが…

生ゴミゼロを掲げる ⇒ 千葉県全世帯へのコンポストの導入を義務づけ ⇒

コンポストにより出た堆肥は行政が引き取る ⇒ 必要な農家へ提供

- コンポスト導入にあたっては、マイナポイントと補助金制度を活用できる仕組みを作る

## ■ 上勝町のゼロ・ウェイストセンター45分別 80%リサイクル率



出典:徳島県上勝町HP

## ■ コンポストとは…



出典:(株)フォレストバイオテック(PR TIMES)

コミュニティ単位での醸成、精度が成否を決める

## ■ 参照・引用資料

- 千葉市,家庭ごみ出し方一覧表,表 (city.chiba.jp), 2023年9月27日
- 千葉市:家庭ごみ手数料徴収制度の概要 (city.chiba.jp), 2023年9月27日
- 千葉市:ごみ総排出量(推移グラフと比較) | GraphToChart, 2023年9月27日
- ZERO WASTE TOWN KAMIKATSU, 2023年9月27日 (<https://zwtk.jp/history/>)
- 上勝町:「ゼロ・ウェイスト運動」, , 2023年9月27日 ([sanpai-media.com/column/3089](http://sanpai-media.com/column/3089))
- バイオ式の生ごみ処理機「respo(リスポ)」, 2023年9月27日, (<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000001.000035262.html>)
- 上勝町ゼロ・ウェイストセンター(WHY), 2023年9月27日, (<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000009.000040062.html>)



<https://de-denkosha.co.jp/datsutanso/>

脱炭素経営とは、再生可能エネルギーを創る「創エネ」、使う電気を減らす「省エネ」、創った電気を貯める「蓄エネ」をうまく活用し、会社・事業で排出する温室効果ガス「0」を目標にする経営のこと。

中小企業の私たちにも、できる取り組みが沢山あることを伝えたい。このような想いで、90年以上「電気」に向き合ってきた電巧社ならではのアイデアが詰まった創エネ、省エネ、蓄エネのソリューションをお伝えできる情報を、当サイトで発信しております。

DELレポートに関するお問い合わせ先はこちらへ

電気のコンシェルジュ

**DENKOSHA**

株式会社 電巧社

〒105-0014 東京都港区芝2-10-4

TEL: 03-3453-2221(本社代表)

担当: DELレポート事務局

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的所有権は株式会社電巧社に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。